



# 園長だより (3)

NO.27, R5.11.20 (Mon)

この頃、子ども達の間でブームなのが、鉄棒・雲梯です。

朝、登園し、我先に園庭に直行して、鉄棒にぴょんと跳びついている子ども達。この快活な様子に“元気発刺!”という言葉は、この子達の為存在する言葉だなあと、一人頷いている私。

以前から鉄棒はやっていました。特に、さくら組の子がブームの様で...

子ども達が最近やっている技は、  
「豚の丸焼き」手と足で狩猟された動物の感じで、鉄棒にぶら下がります。まずこれが基本なのですが、腕力と腹筋力を使います。

勿論、鬼ごっこ、水鬼、バナナ鬼、サッカー、砂場、あとカニ釣りも盛り上っていますが、カニ釣りの話題は今度。



コウモリ

「コウモリ」両足を掛けて、逆さにぶら下がります。これ、やってみて分かるんですが、すごい体幹が鍛えられるんですよ! 驚くのは、志都呂幼稚園の子で、ぶら下がるだけでなく、このスタイルで揺れるという妙技も!!

腕力と腹筋力を使います。



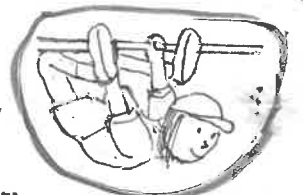
豚の丸焼き

「地球回り」手を交差に持ち、ぶら下りて回転しつづけます。これはすごい腕力と腹筋を必要とします。私も子ども達に「園長先生もやって〜」とセガまれ、ぶら下がりつつ必死にやっています。



地球回り

「洗濯バサミ(バツタと読子も)」手を掛けて、次に足を掛け、鉄棒上でまるでブリッジをやる感じでぶら下ります。



洗濯バサミ(バツタ)

やり方は、その子その子で諸説あります。

これはもう究極の技で、各筋力・体幹に加え、柔軟性も必要とされます。

いとも簡単そうに毎朝、しかも楽しそうに満面の笑顔でやってくる子ども達。改めて単純にすごいな〜といつも思います。明るく無邪気に「園長先生もやって〜」のリクエストに、自身の体力の限界を感じつつ、ひ〜ひ〜言いながらの私のズッコケちゃう姿が、若干子ども達の優越感を刺激する様で、更に奇揚々と取り組んでいます。

そして、これらの技を、友達がやっているのを見て、我も我もと自分もやってみて出来なければ、出来るまで何度も何度もチャレンジしています。この遊び(学び)が基礎となり、逆上りに繋いでいくんですね。実は志都呂幼稚園の子達の逆上り、蹴り上げるといふより、腕の力と腹筋力だけでググッと上っていく感じの逆上りの子が多々います。これは、日々の遊びの中から培われる体力が由縁なんだなと実感します。

あ〜、取り組んでいるというより、あくまでも遊びの中で展開されているという表現が匹敵します。誰に言われるのではなく、自らの意志・意欲でやっている訳で、そのすぶる前向きな意欲を伴った遊びこそが体力と諦めない意志・忍耐力を培っている事が実感出来ます。そして、その意欲が、これからの人生においての自信や挫折にした時に立ち上りける力に繋いでいくんだろ〜な〜と、何度もチャレンジして「出来た〜」の、それはそれは誇らしげな笑顔から、感じられます。